



みよし市民病院

病院だより

第6号

広報HP委員会

みよし市三好町八和田山15

TEL 0561-33-3300

FAX 0561-33-3308

広報誌刊行のごあいさつ

花の便りもあちこちで聞かれる時候になってきました。病院だよりも今回で第6号を発行する運びとなりました。

これからの季節は皆さんも紫外線が気になってくる時期ではないでしょうか。春から夏にかけて最も紫外線が強い季節です。今号は紫外線対策にスポットを当てたいと思います。

このたび、X線テレビ装置が最新式に変わることになりました。工事等で皆様に大変御迷惑をおかけしております。今号では新しくなるX線テレビ装置についても説明させていただきます。

なお、4月2日に理念石碑の除幕式が行われましたので紹介させていただきます。

また、3月31日付けで長年お勤めされました、柘植久明事務局長が定年退職を迎えられました。広報誌にコメントをいただきましたので、併せてご紹介させていただきます。

広報ホームページ委員会 一同

紫外線対策

春から夏にかけて最も紫外線が強い季節です。紫外線は肌に様々な悪影響を及ぼします。



〔UV-A〕波長が長く、表皮を通過して真皮まで到達し、色素沈着（サンタン）を起こします。また、慢性的に浴び続けると皮膚の弾力繊維や膠原繊維にダメージを与え、シワやたるみなど、肌の老化を引き起こす原因となります。

〔UV-B〕浴びた直後から主に表皮で急激に作用して炎症（サンバーン）を起こしてシミやソバカスなど、肌の乾燥の原因となります。

紫外線は3月頃から増え始め、6月〜7月が最も強くなります。また、1日の半分以上が10時から14時頃に降り注ぐと言われています。ちよつとお買い物、洗濯物の取込みくらいなら、という油断は禁物です。曇りの日や、水面、地面の反射光にも気を付けましょう。

●紫外線の防ぎ方

最近ではUVカット機能の商品がいろいろありますね。日笠やサングラス、帽子等。確かに効果は有りますが、肌を全て隠すことは困難です。やはり日やけ止めを塗ることが手軽で効果的です。

●日やけ止めの選び方

日やけ止めは、紫外線吸収剤と紫外線散乱剤で構成されています。「紫外線吸収剤」紫外線をいったん吸収し、熱エネルギーに変えて放出します。「紫外線散乱剤」紫外線を物理的に散乱、反射します。

S P FはU B - Bの防止力、P AとはU V - Aの防止力の目安です。数字や+が多いほど効果が強いわけですが、屋外での活動状況や肌質などを考慮して使い分けします。肌が弱くかぶれやすい方は、日やけ止めをいきなり顔や体につけないで、腕の内側などに少量つけて、赤みや痒みがないか確認するようにしましょう。湿疹やアトピー性皮膚炎の方は、皮膚炎をおこしたり、症状を悪化することがあるので、皮膚科医に相談しましょう。

●日やけ止めの正しい使い方

〔塗り方〕パール粒1個分を顔の何か所に点々とのせ、擦りすぎないように優しく塗り伸ばす。さらにもう1個分をムラにならないように顔全体に塗り伸ばす。日やけしやすい額や鼻筋、頬骨にはていねいに。メイクをしている場合は皮脂や汗をティッシュなどで軽く押さえ取り、日やけしやすい部分を中心につけ直してからファンデーションを重ねづけします。

〔落とし方〕ぬるま湯を使う、ゴシゴシ擦らない、自分の肌合った洗顔料でしっかり泡だてて優しく洗い落とします。洗った後は肌が乾燥しないうちにお手入れをしましょう。

理念石碑除幕式

平成25年4月2日午後2時より、市民病院玄関前にて理念石碑の除幕式が行われました。このたびは、故熊澤敦元院長のご遺志による多大なるご寄付により、市民病院の理念を掲げた記念碑の建立を始め、ロ―タリーくすの木の植栽、医療機器の整備など病院事業に有効的に活用させていただきました。大変ありがとうございました。

石碑に刻まれました「みよし市を愛し、みよし市民の健康に寄与すること誓います」という市民病院の理念は熊澤元院長の思いに通じるものであると思います。この理念を病院運営の基幹として後世に引き継いでいきたいと思ひます。



X線テレビ装置

X線テレビ装置は人体を透過したX線を画像化して、その画像を検査・治療に利用する装置です。画像はリアルタイムに観察することが出来、胃のバリウム検査や大腸

造影検査に利用されます。これまで稼働していた装置は、X線を画像化する部分に、イメージングエンジンシファイアと呼ばれる従来方式のものを使用されておりましたが、今回、新規導入されたX線テレビ装置ZEXIRA（ゼクシラ）は、最新のフラットパネルデータクタ（FPD）を搭載しております。

FPDは人体を透過したX線を直接電気信号に変換し、従来装置よりも高精細な透視画像・撮影画像を提供できます。また、これまでの装置は画像に歪みがありました。FPDを搭載したことにより、歪みが全く無い画像になり、精度の高い診断が可能です。

被曝に関しても、FPDはX線の感度が高くなっておりますので、従来装置より少ないX線量で画像化でき、高精細な画像のため、撮影回数も低減も可能になります。トータルでの被曝線量の低減が可能です。ゼクシラは検査を行う寝台も最新型となっております。患者さんの頭足方向及び左右方向に幅広い透視・撮影を可能とし、ほぼ全身の撮影が可能です。水平時の寝台高さを48cmまで下降できますので、検査室に歩いて来られない患者さんを優しくサポートします。また、患者さんが乗る寝台も緩やかな曲線になっており、体位変換のし易さと苦痛の軽減を両立しています。



定年退職を迎えるにあたって

私がみよし市民病院に事務局長として配属され、2年が経過し定年退職を迎えることができました。

ほんとうに短い2年間だったと感じています。勤務して4月早々、“病院機能評価の審査を受け、認定をめざす。”との病院事業管理者の言葉に、病院機能評価とは？、何のため何をするの？という程度の知識でありました。

受審の準備が進むにつれ、長い準備期間が必要であること、膨大な事務量であること、患者さんへのサービスと医療の質の向上に大きく貢献できることが解りました。

幸いにも無事、認定を受けることができ、“やった”と言うより“ほっと”したと言う感じでした。これも病院職員全員の努力の成果であったと思ひます。

長い公務員生活の中で短い期間でありましたが、病院経営事業を経験できたことはよかったと思ひます。

今後も病院の理念にありましますように、市民のための病院、市民に信頼される病院であり続けることを願っています。

柘植 久明

